

北のくらし

一般社団法人 北海道消費者協会

札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟 TEL(011)221-4217

<https://www.syouhisya.or.jp/>

モッテコで食品ロス削減	2
令和7年度スマホ教室終了	2
2025年消費生活10大ニュース	2
辻富美子元道協会会長が逝去	3
泊原発3号機再稼働で緊急要請	3
地域消費者協会 元気だより	4
物価対策の緊急対応を求める要請	5
第2回消費生活リーダー研修講座	5
ガラス繊維強化プラスチックによる けがに注意!	6~7
消費生活相談（置き配商品未着／リボ 払いの利用は慎重に）	8



北海道電力に泊原発3号機再稼働に対する緊急要請を行う長島会長（奥中央）ら＝昨年12月16日、北海道電力本社



協会ホームページ



協会フェイスブック

会員募集中！申し込みは
お近くの消費者協会へ

どんちゃん騒ぎ

振り返ると、若さゆえの甘えだったと恥じ入ってしまいます。大学生時代、親からの仕送りが届くや、決まって連日のどんちゃん騒ぎ。たちまちお金は底をつき、友人たちから借金をして糊口をしのぐ。毎月、そんなことの繰り返しです。昭和の大学生ならば笑い話にもなりますが、われら人類が同じようなことを繰り返しているとなると、背筋がぞっとしませんか。

「アース・オーバーシュート・デイ」という言葉があります。オーバーシュートは英語で「行き過ぎ」といった意味で、地球が自ら再生し供給している森林資源、海洋資源などの恩恵の1年分を人類が元日から数えてどれだけの早さで消費しているのかを示す数値です。提唱している国際シンクタンクによると、昨年2025年のオーバーシュート・デイは7月24日。私たちは地球が1年かけて再生しようとしている環境資源を早々に使い切り、未来分の資源を「借金」して、食いつぶしている状態というわけです。

1971年は12月25日でしたが、2000年には9月23日、2010年8月6日と、年々早まっています。国別の算出では、25年の日本はそれより早い5月8日です。米国は3月13日、中国は5月23日でした。いずれも「環境の借金大国」というわけです。

一番遅い国は、12月17日の南米ウルグアイでした。日本の面積の約半分、人口は340万人。理由を調べると、風が吹き抜ける土地・気候などを生かして風力発電、太陽光発電などに力を入れ、再生可能エネルギー97%を実現している国でした。見習うべきところは多々あります。

地球の上での「どんちゃん騒ぎ」はもう卒業したいところです。




買い物かご

協会名

モ ッ テ コ mottECO で食品ロス削減

食べ残した料理を持ち帰り

「mottECO」（モッテコ）＝＝をご存知ですか。国が提唱している食品ロス削減や脱プラスチックを目的とした、食べ残し持ち帰りなどの普及、定着に向けての取り組みです。環境省などが2020年に名称と容器のデザイン

を公募し、mottECO が選ばれました。

道内では、びっくりドンキー、ロイヤルホスト、大戸屋などの店舗で実施して

います。その場で食べきることを前提とし、食べきれなかった場合に専用の箱を購入し、自分で容器へ移し替え、持ち帰るものです。

注意点は、①帰宅後はできるだけ速やかに飲食する②異臭等を感じた場合は口にしない③単に温めるだけでなく、十分に再加熱してから食べる一などです。詳しくは店頭で確認してください。

スマホ教室で生成 AI も体験

2025年度「デジタル活用支援推進事業（スマホ教室）」が終了しました。今年度は岩内町・本別町・中札内村・鶴居村の4地域で開催し、岩内町と本別町では初めて消費者協会が主体となり実施しました（写真は岩内町）。



新たな試みとして、「生成 AI を使ってみよう」や「文字表示電話サービス（ヨメテル）を使ってみよう」といったテーマも導入。「生成 AI」ではチャット GPT を使って俳句やエッセイを作成し、参加者同士で発表し合って楽しむ場面もあり、その表現力とスピードに驚きの声が上がりました。

「ヨメテル」は聴覚に不安のある人に向けた通話文字表示サービス。実際にデモ機で体験し、その正確さや使いやすさに感心する様子も見られました。

一方で、ネット詐欺や偽警察官からの電話、ロマンス詐欺、生成 AI による偽情報の拡散など、身近に潜むリスクについても具体例を挙げながら注意喚起を行い、デジタルリテラシーの大切さを強調しました。

本事業は今年度で終了となりますが、道協会によるスマホ教室は今後も継続する予定です。来年度の開催をご希望の地域は、お気軽にご相談ください。

全道の消費者協会と道協会職員が選ぶ2025年消費生活10大ニュースが決まりました（投票総数91）。前年1位は「令和の米騒動」でしたが、2025年は相次ぐクマ出没がトップでした。特殊詐欺と米問題も依然として関心が高いようです。

2025年消費生活10大ニュース

- 1 位（72票）クマ出没相次ぐ くらしにも影響
- 2 位（67票）特殊詐欺、ロマンス詐欺とも道内で過去最悪の被害額（上半期）
- 3 位（65票）米価格高騰で、農水省が21万トン去皮切りに備蓄米を放出
- 4 位（60票）石破首相退陣、高市政権誕生
- 5 位（55票）ガソリン暫定税率、年内廃止へ 与野党合意
- 6 位（53票）中央バス、運転手不足で計440便廃止・減便。バス網減が加速
- 6 位（53票）食品値上げ2万品超 帝国データバンク調べ
- 8 位（42票）消費者協会灯油調査で1ℓ 131円超え。調査史上、最高値を更新
- 9 位（41票）泊3号機、原子力規制委員会が安全審査を終え、正式合格
- 10 位（38票）食品ロス削減へ消費者庁が消費期限、賞味期限のガイドライン改正

辻富美子元会長が逝去

平成の消費者運動を強いリーダーシップで導いた北海道消費者協会第5代会長の辻富美子さんが、昨年12月5日に逝去されました。享年91歳でした。



辻さんは江別消費者協会会長を務め、1998年に道協会の会長に就任されました。2年後には、道立消費生活センターが設置され、道協会が管理運営を行う指定管理者になるという大きな節目がありましたが、いつも笑顔を絶やさず、華やかな人柄で統率力を発揮しました。

この間、2006年11月には、東京の資源エネルギー庁に出向き、灯油価格値下げの抜本対策を求める＝写真＝など、5期10年にわたって北海道



の消費者運動をけん引しました。その功績が

たたえられ、2010年に北海道功労賞を受賞しました。ご冥福をお祈りします。

中井悦子・江別消費者協会会長の話

辻さんは江別消費者協会の50周年記念式典（2019年）ではお元気なご様子でしたが、体調を崩され、突然のご逝去の知らせは大変残念です。

江別消費者協会といえば辻さん一と、誰もが口にする方でした。1977年から37年間、市民を消費者被害から守る活動、地産地消事業、マイバッグ運動など「くらしの安全と向上をめざして」行政や企業に働きかけ、私たち消費者の力になっていただきました。辻さんの遺志を継いで協会を運営してまいります。安らかにねむりください。

泊原発再稼働で緊急要請

道、北電に慎重な対応求める

北海道消費者協会と道内54地域協会は昨年12月16日、北海道知事と北海道電力社長に対し、泊原発3号機再稼働について慎重な対応を求める緊急要請を行いました。

原発に依存しない社会を

長島博子会長らが北電＝写真④＝、北海道庁＝写真⑤＝を訪れ、担当者に要請書をそれぞれ手渡しました。

北電への要請では、長島会長が、福島では依然故郷に戻れない人たちが多数いる現状を挙げ、「福島第一原発事故により安全神話は完全に崩壊した」と指摘。その上で、①原発の必要性の再考②道の「省エネ・新エネ促進条例」の趣旨を踏まえて原発に依存しない社会を目指す③一層の経営努力による道民の電気料金負担軽減の実現④新エネ・省エネ導入拡大に迅速・果敢に取り組むこと一を強く求めました。



地域消費者協会 元気だより

人生100年時代の終活講座 札幌

札幌消費者協会教育部は「人生100年時代 元気なうちに備える終活講座」を昨年9月から11月に3回連続で行い、計92人が参加しました。参加者からは「高齢の親がいるので勉強になった」などの声が寄せられました。講師は「パスワードをノートに記録することと、そのアカウントの存在をエンディングノートに記載することが重要」と話しました。



消費生活展と50周年式典 茅室

昨年11月16日、「見直そう消費生活～私たちの行動が未来を変える～」をテーマに、第24回消費生活展をめぐろーどで開催しました。また、茅室協会が設立50周年を迎えたことから、併せて記念式典も行いました。

町内外から210人が来場し、十勝産海水塩などのパネルに目を留めていました。



華の金曜日コスモスの会 上砂川

上砂川協会は昨年12月12日、地区懇談会「華の金曜日コスモスの会」を開催しました。参加人数は25人。架空請求詐欺や還付金詐欺対策のDVD視聴、詐欺防止クイズ、かるたなどをしました。参加者からは「楽しみながら大変勉強になった」との声が聞こえました。



みんなの生活展に約300人 網走

網走協会は昨年10月19日、「みんなの生活展」を開催しました。参加人数は292人でした。参加者からは「多数の団体が参加していて、いろいろ勉強になる」「スタンプラリーでさまざまなブースを回ることができた」という声が出ていました。



物価対策の強化求める

道、経産局などに緊急要請

物価の上昇が続く中、北海道消費者協会と道内60の地域協会は昨年12月1日に北海道知事と北海道経済産業局長に対し、物価対策の緊急対応を求める要請を行いました。同日、内閣総理大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣に対しても同様の緊急要請書を郵送しました。

要請では、暖房用灯油、福祉灯油に対する補助事業の継続、米の価格抑制と安定供給、寒冷地に対応した適切な支援策、低所得者や年金生活者など社会的弱者への対策強化などを訴えました。

要請書を受け取った北海道環境生活部くらし安全局の高木順一局長は「道民の皆様の安全・安心なくらしのために多岐にわたる要望をいただいた。私ども消費者行政としてもできることをしっかり取り組んでいく」と述べました。



北海道庁で要請書を手渡す長島博子会長（右）



北海道経済産業局で要請する長島会長ら

気候変動の影響など学ぶ

第2回リーダー研修講座

本年度第2回のリーダー研修講座を昨年11月21日に道立消費生活センターで開催し、31人が受講しました。

午前は、気象庁札幌管区気象台地球温暖化情報官の横田歩氏が「地球温暖化と北海道の気候変化」と題して講演しました＝写真＝。



横田氏は温暖化がこのまま進めば、20世紀末と比べ、21世紀末の北海道は熱中症や病害虫の生息域、感染症が増大する恐れがあると強調しました。

午後は、「みどりの食料システム戦略」と題し、北海道農政事務所の川口尚文氏が講演。続いて、「気候変動が北海道の暮らしに及ぼす影響」をテーマに、北海道立総合研究所主査の鈴木啓明氏が話しました。

3月7日に「消費者トラブル110番」

北海道消費者協会が指定管理を行う道立消費生活センターと札幌弁護士会は3月7日（土）、共催で令和7年度第2回特別相談「消費者トラブル110番」を実施します。

さまざまな消費者被害やトラブルについて、電話のほか、来所（要事前予約）による相談にも対応します。詳しくは同センターホームページをご覧ください。相談支援グループ（電話011-221-0110）へお問い合わせください。

3月7日の特設電話番号 011-251-5020

ガラス繊維強化プラスチックによるけがに注意!



—傘の骨などに使用されています—

国民生活センター
のテスト（抜粋）

PIO-NET（全国消費生活情報ネットワークシステム）には、ガラス繊維強化プラスチックが使用された商品から飛び出したガラス繊維を触ってけがをした、あるいはそのおそれがあったとする相談が寄せられています。

ガラス繊維強化プラスチックは、細いガラス繊維の束に樹脂をしみ込ませて成形したもので、傘の骨、園芸用ポール、テントの支柱など、軽量で弾性が求められる部位に用いられることがあります。ガラス繊維は細く肉眼では見えづらいため、気づかずに露出した部分に触れると、けがをするおそれもあります（写真1）。そこで、国民生活センターはガラス繊維強化プラスチックが使用された傘について調査を行い、消費者に注意喚起しました。

ガラス繊維強化プラスチック

使用されるガラス繊維には、大きく分けると長繊維（グラスファイバー）と短繊維（グラスウール）があります。（以下、特に断りがない限り、長繊維のものを「ガラス繊維」とします）。軽くて強い、さびないなどの特性を持ち、経済的であるため、傘やテントといった日用品やレジャー用品、園芸用品、玩具・遊具などに広く利用されています。

事事故事例

●子どもが人とすれ違うときにぶつかり、グラスファイバー製の傘の親骨が折れて細かなガラス繊維が手に刺さった。特に子どもには危険な商品だと思う。

●数年前に購入した傘をさそうとしたら手に激しい痛みがあった。表示を見るとグラスファイバー製との記載があった。危険な商品を販売するのは問題だと思う。

テスト結果

PIO-NETで危害・危険情報の件数が最も多かった傘について、ガラス繊維強化プラスチックが使用されている箇所や表面の状態、表示等を調べました。また、新品時や、折り曲げたり傷つけたりした際の表面の観察を行いました。

●軽量で弾性が求められる傘の骨にガラス繊維強化プラスチックが使用されていました。

●テスト対象とした傘に使用されていたガラス繊維強化プラスチックは、樹脂表面付近にまでガラス繊維が出ていました。

●新品時でも傘の骨の表面にガラス繊維の先端が露出しているものがありました。

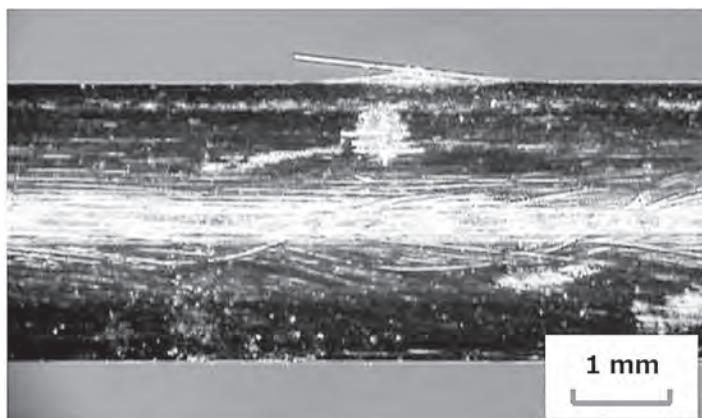


写真1：傘の骨表面（左）と粘土に刺さったガラス繊維（右）

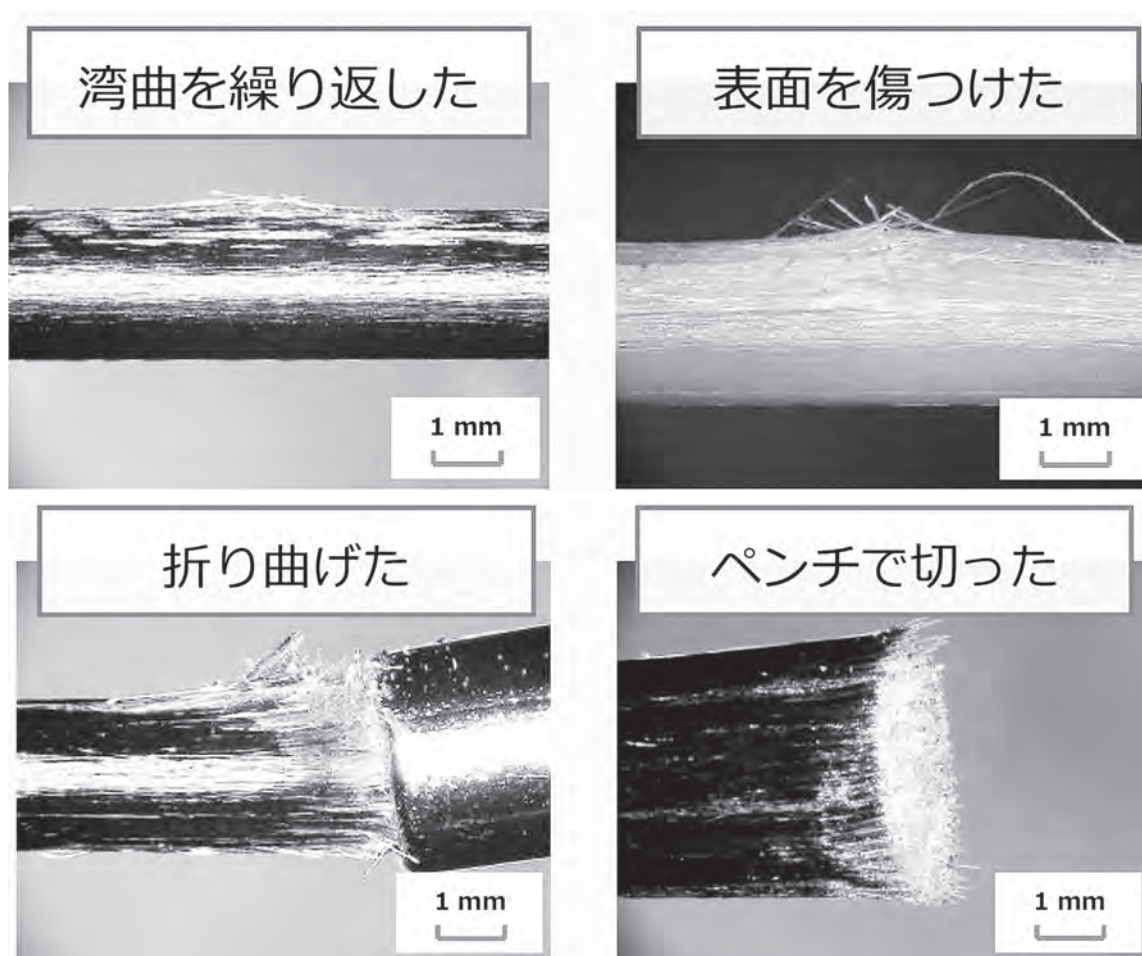


写真2：曲げるなどの操作を行った後の表面の様子

●曲げたり傷つけたりすると、ガラス繊維の先端が樹脂表面から飛び出してくることがありました（写真2）。

●表示からガラス繊維強化プラスチックが使用されていることが分からない商品や、ガラス繊維についての注意表示がない商品がありました。

●家庭用品品質表示法で規定された項目が表示されていない銘柄がありました。

業界・事業者への要望

●ガラス繊維強化プラスチックが使用された商品を使用する際の注意点について、引き続き消費者に周知するよう要望します。

●ガラス繊維強化プラスチックが使用された商品について、材質と使用上の注意に係る適切な情報提供がなされるよう要望します。

●家庭用品品質表示法の表示がされていない商品がありました。同法に基づいた適切な表

示がなされるよう要望します。

●商品に使用されているガラス繊維強化プラスチックからガラス繊維が飛び出してこないような改善、もしくは別の部材に置き換える等の改善を要望します。

消費者へのアドバイス

●ガラス繊維強化プラスチックは、表面からガラス繊維の先端が露出していることがあります。表示の有無にかかわらず、不用意に素手で触らないなど、取扱いには注意しましょう。

●ガラス繊維が皮膚に刺さって痛みが続く場合は、医師の診察・処置をうけましょう。

※詳細は国民生活センターのホームページを参照ください。

URL：https://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20250917_2.html

「置き配」で配達完了通知が届いたけれど… 通販の商品が届かない!

問 通販サイトで注文した化粧品が置き配で配達完了したと通知が届いたのですが、宅配ボックスを確認したが、荷物が置かれていなかった。宅配業者が調査中だが、販売店からは宅配業者が過失を認めなければ補償できないと言われている。商品を受け取っていないので補償してほしい。(30代 女性)

答 通信販売は特定商取引法で広告規制があり、事業者は契約や解約の条件などを広告に表示する義務があります。商品が届かなかった場合の対応についても、原則は広告等の記載内容に従うことになります。

相談者に確認したとこ



消費生活相談

ろ、販売サイトには補償について具体的な記載がないようでした。ただし販売店は商品を提供する義務があると考えられるため、調査の結果、納得できるような対応でなければ、再度話し合う方法もあるので、当センターに連絡するよう伝えました。

ネット通販などで、玄関先など指定した場所に荷物を置いてもらう「置き配」の利用が増えています。「初期設定が置き配になっていることに気づかなかった」、「誤配された」との相談も寄せられています。注文前に利用規約やトラブルがあった場合の補償の有無、事業者への連絡方法などをよく確認し、配達完了通知を受け取ったら早めに商品を引き取るようにしましょう。

残高が減らず返済が大変 リボ払いの利用は慎重に!

問 数年前に携帯電話の機種交換をした際に勧められてクレジットカードを契約し、毎月1万円を支払うリボリング払い（リボ払い）の設定にした。先日、カード会社から書面が届き、残高が70万円あり、このままでは残高が減らないので毎月の支払額を2万円以上にした方が良いと言われた。支払いが大変になるので、どうしたら良いか。

(40代 女性)

答 クレジットカードのリボ払いは、毎月の支払いを一定にできますが、新たな買い物をすると支払残高が増えて、支払いが長期になり、手数料がかさむことがあるので注意が必要です。相談者にはカードの利用

方法を見直して、毎月の支払額についてカード会社に相談してはどうかと伝えました。

このほか、「リボ払いになっていることに気づかなかった」といった相談もあります。カードの支払方法が最初からリボ払いに設定され



ていたり、リボ払い専用カードが発行されていたりする場合もあります。カードを申し込む際には、返済方法や手数料をよく確認しましょう。また毎月の利用明細で支払額や支払残高も必ず確認し、不明な点があればカード会社に連絡しましょう。

トラブルに遭ったら、早急に最寄りの消費生活相談窓口にご相談を。

北海道立消費生活センター
相談専用電話

一人で悩むより…

TEL 050-7505-0999